



**京都府では年々増加しており、  
ジェネリック医薬品の使用割合は70%を超えています。**

国として2020年9月までにジェネリック医薬品の普及率(使用割合)を80%までに引き上げる目標を掲げています。海外に目を向けても、先進国では日本よりずっと前から医療費の適正化の施策の一つとして、ジェネリック医薬品の使用が促進されていて、普及率が90%以上の国もあります。